高校生教育プログラムの周知及び活用について

高校生教育プログラム利用方法

◆高校生教育プログラムはきょうとプレコンwebサイトからダウンロードして使用

・プログラムは、紙媒体ではなく、きょうとプレコンwebサイトにデータを掲載
　一般の方も閲覧でき、PDF資料のダウンロードが可能

・きょうとプレコンwebサイトの中に、府内高等学校教員向けダウンロードページを作成
（パスワードを設定）
　府内高等学校の教員は、編集可能データ（power point、word）をダウンロードでき、教員や生徒のニーズに合わせて、編集しての使用が可能

＜教員向けダウンロードページ＞

＜学校向けリーフレット（A3・両面）＞

高校生教育プログラムの周知及び活用

◆府内全ての高等学校に高校生教育プログラムを周知（R7年４月）

学校向けリーフレットを府内全ての高等学校へ送付
多くの教員に知っていただくため、各校１通ではなく、学校長宛て、保健体育科教員宛て、
養護教諭宛て等複数送付（府内高等学校数約150校、生徒数約76,000名）

◆校長会での周知（R7年５～７月）

京都府立、京都市立、京都私立の高等学校校長会にて、
高校生教育プログラムを周知

◆教員向け研修会の開催（R7年夏～秋頃）

高校生教育プログラムの活用方法やプレコンセプションケアに関する研修会を開催

◆高校生教育プログラムに関する教員向けアンケートの実施（Ｒ７年冬頃）

プログラム内容のブラッシュアップにあたり現場の教員の意見を集約

◆高校生教育プログラムに関するチーム会議を開催（R8年２～３月頃）

令和７年度の活用状況報告やプログラム内容のブラッシュアップを行う